

教科	科目	単位数	学年	集団
保健体育	保健	1	2	ビジネス探究科

使用教科書	副教材等
現代高等保健体育（大修館書店出版）	現代高等保健体育ノート（大修館書店出版）

科目の目標
保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。 (1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 (2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 (3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

評価の観点とその趣旨	
①知識・技能	・現代社会と健康について、理解している。 ・安全な社会生活について、理解しており、応急手当を身につけている。
②思考・判断・表現	・現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し、判断するとともにそれらを表現することが出来る。 ・安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現することが出来る。
③主体的に学習に取り組む態度	・自他の健康やそれを支える環境づくりに関心を持とうとしている。 ・生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す実践力をつけようとしている。
評価方法	
・知識・技能の点検、確認、分析（定期テスト、小テスト、応急手当スキルテスト、学習プリント・ノート等） ・記述の点検、確認、分析（学習プリント・ノート、グループワーク等） ・行動の観察、確認（課題レポートやその他提出物等への取組状況、授業への取組状況 等）	

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材などの内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	生涯を通じる健康	・ライフステージと健康 ・思春期と健康	思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることを理解できる。	○		
			思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理することができる。		○	
			思春期における心身の変化、および健康課題について理解しようとしている。			○
5	・性意識と性行動の選択 ・妊娠、出産と健康	・性意識と性行動の選択 ・妊娠、出産と健康	自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることを理解できる。	○		
			性意識の男女差、性に関する情報が性行動の選択に影響を及ぼすことについて理解し、説明することができる。		○	
			性意識の男女差、性に関する情報が性行動の選択に影響を及ぼすことについて理解しようとしている。			○
6	避妊法と人工妊娠中絶	避妊法と人工妊娠中絶	家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについても理解できる。	○		
			家族計画の意義と適切な避妊法、人工妊娠中絶が女性の心身に及ぼす影響について説明することができる。		○	
			家族計画の意義と適切な避妊法、人工妊娠中絶が女性の心身に及ぼす影響について理解しようとしている。			○
7	・結婚生活と健康 ・中高年期と健康	・結婚生活と健康 ・中高年期と健康	中高年期を健やかに過ごすためには、若いときから、健康診断の定期的な受診などの自己管理を行うこと、生きがいをもつこと、運動やスポーツに取り組むこと、家族や友人などとの良好な関係を保つこと、地域における交流をもつことなどが関係することを理解できる。	○		
			結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理することができる。		○	
			心身の発達と結婚生活の関係、結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動について理解しようとしている。			○
			* 期末試験	○	○	

9		- 働くことと健康 - 労働災害と健康 - 健康的な職業生活	労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量に変化してきたことを理解できる。	○		
			労働災害を防止するには、作業形態や作業環境の改善、長時間労働をはじめとする過重労働の防止を含む健康管理と安全管理が必要であることを理解できる。	○		
			・労働災害と健康について、習得した知識を基に、労働災害の防止に向けて、個人の取組と社会的対策を整理することができる。		○	
			働くことの意義や健康とのかかわり、働き方と健康問題の変化について理解しようとしている。			○
10	健康を支える環境づくり	- 大気汚染と健康 - 水質汚濁、土壌汚染と健康 - 環境と健康に関わる対策	人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて理解できる。	○		
			健康への影響や被害を防止するためには、汚染物質の排出をできるだけ抑制したり、排出された汚染物質を適切に処理したりすることなどが必要であることについて理解できる。	○		
			人間の生活や産業活動などによって引き起こされる自然環境汚染について、事例を通して整理し、疾病等のリスクを軽減するために、環境汚染の防止や改善の方策に応用することができる。		○	
			環境汚染を防ぐための取り組み、産業廃棄物の処理と健康問題について理解しようとしている。			○
11		- ごみの処理と上下水道の整備 - 食品の安全性 - 食品衛生にかかわる活動	上下水道の整備、ごみやし尿などの廃棄物を適切に処理する等の環境衛生活動は、自然環境や学校・地域などの社会生活における環境、及び人々の健康を守るために行われていることについて理解できる。	○		
			人々の健康を支えるためには、食品の安全性を確保することが重要であり、食品の安全性が損なわれると、健康に深刻な被害をもたらすことがあり、食品の安全性を確保することは健康の保持増進にとって重要であることについて理解できる。	○		
			食品の安全性と食品衛生に関わる活動について、習得した知識を自他の日常生活に適用して、健康被害の防止と健康を保持増進するための計画を立てることができる。		○	
			ごみの処理の現状とその課題、上下水道の整備とし尿の処理について理解しようとしている。			○
		* 期末試験		○	○	
12		- 保健サービスとその活用 - 医療サービスとその活用	我が国には、人々の健康を支えるための保健・医療制度が存在し、行政及びその他の機関などから健康に関する情報、医療の供給、医療費の保障も含めた保健・医療サービスなどが提供されていることについて理解できる。	○		
			健康を保持増進するためには、検診などを通して自己の健康上の課題を的確に把握し、地域の保健所や保健センターなどの保健機関、病院や診療所などの医療機関、及び保健・医療サービスなどを適切に活用していくことなどが必要であることについて理解できる。	○		
			医薬品の制度とその活用について、医薬品には承認制度があり、販売に規制が設けられていることと関連付けながら、生活の質の向上のために利用の仕方を整理することができる。		○	
			保健行政の役割、保健サービスや保健情報の活用について理解しようとしている。			○
1		- 医薬品の制度とその活用 - さまざまな保健活動や社会的対策	医薬品は、医療用医薬品、要指導医薬品、一般用医薬品の三つに大別され、承認制度によってその有効性や安全性が審査されており、販売に規制が設けられていることについて理解できる。	○		
			我が国や世界では、健康を支えるために、健康課題に対応して各種の保健活動や社会的対策が行われていることについて理解できる。	○		
			地域の保健・医療機関やスポーツ施設の活用の仕方について、関連した情報を整理し、生活の質の向上に向けた課題解決に応用することができる。		○	
			医薬品の種類と正しい使用法、医薬品の安全性を守る取り組みについて理解しようとしている。			○
2		健康に関する環境づくりと社会参加	自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方に基づいた、健康に関する環境づくりが重要であることについて理解できる。	○		
			ヘルスプロモーションの考え方に基づいた、健康に関する環境づくりへ積極的に参加していくために、適切な情報を選択・収集して、分析・評価し計画を立てることができる。		○	
3		* 期末試験	職場がおこなう健康増進対策、余暇の意義と活用のしかたについて理解しようとしている。			○
				○	○	